

西建協だより

188号

2010年
3月



西多摩建設業協同組合創立六十周年にあたって

西多摩建設業協同組合 理事長 佐久間 一三

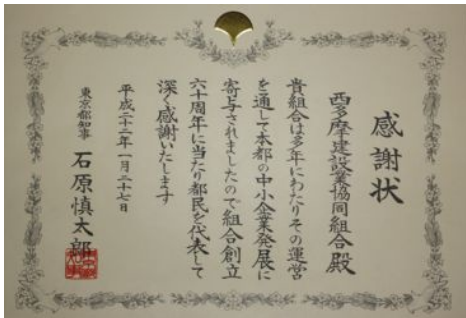
平成二十一年度を持って、西多摩建設業協同組合は設立六十周年の節目を迎えました。本来なら、周年行事としてふさわしい記念事業を行なうべきでありましたが、昨今の経済情勢等を鑑み、平成二十二年一月開催の新年会において、組合員会社の永年勤続従業員に対する都産業労働局長の感謝状、組合役員及び組合にたいしての都知事感謝状の受領のみといたしました。改めて、組合員の皆様、監督官庁の皆様、ご発注者の皆様、地域社会の皆様へ永年、組合の発展育成にご尽力を賜りましたことに厚く感謝と御礼を申し上げます。

さて、当組合は戦後の動乱の続くころに西多摩郡の主だった建設業者の組合として発足し、当時の官公庁発注の工事の受注、施工を目的とし、組合員相互の助け合い、協力しあうことで、西多摩地域の建設、社会基盤整備の担い手として幾多の事業を成し遂げてまいりました。

平成二十一年度 第二回経営講習会

去る二月十二日、青梅商工会議所建設業部会との共催で平成二十一年度第二回経営講習会を開催しました。

講師は株式会社建設経営サービスの山下宏道氏、「危機を乗り越えるためにやるべきことを明確化せよ」というテーマで講習していただきました。内容は、①現状分析、②あるべき姿を描く、③行動計画立案と実行のポイント、④経営計画の事例紹介、われわれ建設業者が生き残るために、今やらなければならないこと、やっておくべきこと、について事例を交えながら



りまく政治、経済、社会の情勢を見ると、大きな変革の中にあり、誰もその行く末を明確に出来ないときにあります。建設業界の変化、事業量の縮小も予測つかない状態であり、組合員みなが困難な状況に

事業委員会副委員長

古屋 英司

から判りやすく説明していただき、非常に有意義な二時間でした。

鈴木さまに改めて感謝申しあげます。

講義の冒頭で紹介されたダーウィンの名言「最も賢い者が生き残るのではなく、最も強いものが生き残るのではない。唯一、生き残るのは最も変化できる者である。」この言葉のとおり、常に変化(進化?)し続けることが出来る企業こそが生き残れる」ということを実感させられました。

今回の講習会にご協力いただいた、青梅商工会議所建設業部会ならびに株式会社建設経営サービスの



二月号の西建協だよりを持つ講師



平成22年度 新年会 西多摩建設業協同組合創立60周年記念表彰式

青梅労働基準監督署長賞(会社)受賞にあたって

加藤建設(株) 加藤 隆

平成二十一年十一月二十七日、羽村市生涯学習センターゆとろぎ小ホールにて開催されました「第11回西多摩地区安全衛生大会」に於きまして、青梅労働基準監督署長表彰を受賞致しました。身に余る光栄と関係各位の皆様へ、御礼申し上げます。

今後、より一層の安全衛生活動に社員一同取り組む所存で御座いますので、変わらぬご指導の程宜しくお願い申し上げます。

さて、昨今世界的に大規模な災害が発生しております。世間で言われる「安全・安心の街づくり」に向けて我々西多摩建設業協同組合としての今後の取組が地域の皆様に期待される所ではないかと思われます。

現在組合としては、東京都と災害協定を締結し有事の際は出動し住民のライフラインの確保に当たるわけですが、大規模地震の様な場合は、まず各社の地域の対応になるわけで地域

の防災組織(自治会等)の一員として活動するわけですから、今後は各地域に即した組織、訓練も必要になってくると思われます。

先日のチリ地震の津波においても、非難訓練をしていた住民はいち早く高台へ避難し難を逃れ、何も知らない観光客が被災したと報道されてきました。

当組合ももつと地域に密着した体制をとり協力して訓練等に参画しながら地域防災を考える必要があると思います。その中で組合として協力できる事を広く住民の皆様にも知ってもらい安心の一助になればと思います。

また自治体、各種組織との情報の一元化、指揮系統の統一等が必要です。その中で西多摩地域全体の組織として今まで以上に団結し安心、安全な地域を目指し組合の充実が図れたらと思っております。

東京都・東京電子自治体共同運営』のICカード化に伴う推薦団体特別キャンペーンの案内

西多摩建設業協同組合様

日本電子認証株式会社
取締役社長 田島俊彦

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社事業につき格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承のとおり、東京都・東京電子自治体共同運営(以下、共同運営)は、電子調達システムに使用する電子証明書を追加し、平成22年5月6日より、電子入札コアシステム対応のICカード電子証明書を追加し、平成24年9月末をもってフロッピーディスク電子証明書を廃止します。

弊社では、東京都・共同運営の電子調達システムに対応するICカード電子証明書「AOSignサービス」をご推薦いただいている団体様を対象に、標記キャンペーンを企画いたしました。この機会に是非ともご利用いただきますよう、会員の皆様にご案内方お願い申し上げます。

敬具

*『推薦団体特別キャンペーン』サービス割引券については、西建協事務局まで問合せ下さい。

◇ 受講生募集案内 ◇

日建学院認定校青梅校からの案内

—合格のための受験準備講座—

- ◎ 2級建築士 学科コース
- ◎ 1級建築施工管理技士 学科コース
- ◎ 1級土木施工管理技士 短期集中コース
- ◎ 宅地建物取引主任者 本科コース

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅教室を開講いたしますので、会員企業の皆様からの受講問合せ（受講申込）等の連絡をお待ちしております。

- * 詳細説明は随時致します。
- * 先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先

青梅校（西建協）事務局 0428-22-6245 石川
日建学院立川校 042-527-3291 担当：澤田

有限会社 新 富 重 機

平素より、西多摩建設業協同組合の皆様方には格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

弊社は、クレーン車（ラフタークレーン）をオペレーター付きでチャーターできるサービスを提供しております。

29年の実績と経験を活かし、現場に応じたクレーン車を選定し重量物の揚重作業を、適格・迅速・安全に、をモットーに対応しております。

今後も安全第一を優先し、お客様のニーズに応えられるよう努力してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

住所 〒205-0002
東京都羽村市栄町2-7-17
TEL 042-555-4810
FAX 042-554-2660
代表取締役 上原 保



◇平成21年度 建設業年度末労働災害防止強調月間◇

期 間 3月1日から31日まで

主 唱 建設業労働災害防止協会

年度末は多くの工事が完工時期を迎え、工事が輻輳し、労働災害の多発が懸念される所です。このため毎年3月1日から31日までの期間を建設業年度末労働災害防止強調月間と定め、この期間中の労働災害防止活動の積極的な推進を図ることとしております。

本月間の取り組みを厚生労働省、国土交通省の後援を得まして、「平成21年度建設業年度末労働災害防止強調月間実施要領」を作成しました。

本実施要領では、会員が実施する事項、平成21年の死亡災害発生状況などの情報を掲載しております。（建災防東京支部より会員各社に配布済み）

無事故で無災害の年度末を締めくくり、新たな気持ちで新年度を迎えることができますよう、本実施要領を活用お願いします。（西多摩分会）

2 月 事 業 報 告

- 5日 広報委員会187号編集発行
- 12日 三多摩建設業連合会 懇親会 「八王子市内」
- 12日 平成21年度第2回経営講習会
「建設会館」3階大会議室 15時
講師 (株)建設経営サービス 山下宏道氏
テーマ
・危機を乗り越えるためにやるべきことを明確化せよ
主な項目
・今やるべきことは何か ・目標設定の考え方
・目標達成のための行動計画立案と実行のポイント
・経営計画の策定・実行手順（経営計画の事例紹介）
- 12日 臨時理事会
- 12日 事業委員会
- 16日 総務委員会
- 17日 理事会

3 月 事 業 計 画

- 5日 広報委員会188号編集発行
- 8日 臨時理事会
- 15日 総務委員会
- 16日 年度末工事現場パトロール
2班 4現場（西多摩分会・技術安全部会）
- 17日 理事会

《2月17日（水）理事会報告》

- ①報告事項
 - ・三多摩建設業連合会 懇親会8名出席
 - ・各委員会事業報告
- ②審議事項
 - ・新年会及び東京都感謝状贈呈式の会計報告の件
 - ・平成21年度第2回経営講習会の件
 - ・第44回通常総会（22年度）準備日程の件
月日 5月19日（水）
会場
総会 青梅市福祉センター 3階 うめ
懇親会 // ふよう
 - ・21年度決算（1月末実績確認）状況
 - ・役員改選
 - ・事業計画・予算

写真が語る西多摩(今昔)

第11回

◇檜原街道小中野付近

小中野宿通りは、この小中野地区は檜原・養沢などから炭俵・材木などの山の産物を運んできた人馬が休憩する場所として栄えた。昭和40年頃もそうした宿の名残が随所に見られた。



現在のようすは、檜原街道が拡幅されたので、かつての雰囲気を感じることは難しくなった。

◇羽村市役所前交差点（羽村駅に向かって撮影）

現在の市役所通りの工事風景（昭和47年）。昭和53年に、現在の市役所が移転された。



38年後の現在街路樹も高木の伸び、大型の店舗も並ぶ通りとなり、青梅市と福生市に通じ交通量も多い。

